

会 議 録

会議の名称	文化財保護審議会（第1回）		
開催日時	平成28年5月10日 開会13:30 閉会14:30		
開催場所	小田城跡歴史ひろば		
事務局（担当課）	教育局文化財課		
出席者	委員	藤川昌樹，田中ひとみ，毛塚裕之，斉藤茂，徳丸亜木， 中村幸雄，中山静郎，橋本喜美子	
	その他		
	事務局	山本文化財課長，広瀬同主任主査	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由			
議題	①国指定史跡「小田城跡」保存整備事業について ②その他		
会議録署名人		確定年月日	平成 年 月 日
会議	1 開会・挨拶 2 小田城跡歴史ひろば整備状況視察 3 閉会		

4月29日に開園した「小田城跡歴史ひろば」について，案内所及び遺構復元広場の内容を事務局が説明・案内して，現地視察を実施した。

<審議内容>

視察時の主な意見

委員：案内所は良い感じにできたかと思います。今後は以前からお話してい

様式第 1 号

ますように、説明していただける方を育成することが必要かと思います。

委員：それと、これからは維持管理が大変です。ボランティア等を育成して、協力して運営していただきたいと思います。

事務局：4月24日の日曜日に、地元対象の説明会というか内覧会を行った時に、地元委員の方にボランティア募集の呼びかけをしていただきまして、20名程が名簿に記入してくださいました。

委員：〔南西虎口から〕内部空間がすごく広く感じます。また、筑波山や宝篋山の眺めがよいです。この様な景色のよさもアピールしていただければと思います。

委員：〔土塁展示室〕以前、土を盛る前に見た時には何かわかりませんでした。土を盛ってから見ると、土塁の変遷を表しているのがよく分かるようになりました。

事務局：今のように私共が説明すれば分かっていたかもしれませんが、説明板だけではどうか不安があります。

委員：今後様々なイベントを実施して、盛り上げていただければと思います。

※閉会（午後2時30分終了）

会 議 録

会議の名称		文化財保護審議会（第2回）		
開催日時		平成28年8月2日 開会9:00 閉会11:00		
開催場所		つくば市庁舎3階 301会議室		
事務局（担当課）		教育局文化財課		
出席者	委員	大関武，岡野一穂，毛塚裕之，田中ひとみ，徳丸亜木， 中村幸雄，中山静郎，橋本喜美子，藤川昌樹，松浦恵子		
	その他			
	事務局	柿沼教育長，山本文化財課長，大久保同課長補佐， 石橋同係長，広瀬同主任主査		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由				
議題		①平成27年度事業報告 ②平成28年度事業計画 ③その他		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議	1	開会・挨拶		
	2	任命状交付		
	3	会長，副会長選出		
	4	会議 ①平成27年度事業報告 ②平成28年度事業計画 ③その他		
	5	閉 会		

様式第 1 号

1 開会・挨拶・2 任命状交付・5 閉会は省略。3 会長・副会長選出は委員の互選により藤川昌樹氏が会長、田中ひとみ氏が副会長に、それぞれ再任された。

<審議内容>

事務局：配布資料に基づき説明。

①平成27年度事業報告

会 長：開発に伴う発掘調査が急増していますが、学園都市の扱いはどうなっていますか。

事務局：区画整理地は造成前に取扱いが済んでおり、現在のT Xの沿線開発は県が担当です。

委 員：県の発掘調査での出土品の保管場所はどこですか。

事務局：県が埋蔵文化財センターを新設し、昨年度から県が保管・活用しています。ただし市の出土文化財管理センターではその前から収蔵量を超えていたので、現在は旧山口小学校にも一部の出土品を保管しています。

委 員：筑波地区の学校統合後の旧校舎の利用は考えていますか。

事務局：考えてはいますが、まずは地元の意向を尊重する必要があります。

委 員：巨樹等調査での天然記念物の指定は検討していますか。

副会長：調査した中には現在の指定物件以上のものもありますね。

事務局：価値によりますが所有者の意向もあります。地域認定文化財の候補や、他市環境部署での顕彰制度も参考に、検討したいと思います。

委 員：所有者への制限もあるので、指定は慎重に考えるべきでしょう。

会 長：初めからブレーキをかける必要もないでしょう。支援制度は文化財関係以外でもありえます。調査結果で評価していけばいいと思います。

委 員：成果の公表は必要です。指定については天然記念物は建造物等との違いもあり、将来の成長や衰弱の危険等も考えないといけません。その中で、価値のあるものは指定制度に限らず何らかの顕彰をすべきでしょう。

様式第1号

委員：代替りの際に無くなることも多いので、周りの人にも重要性を知らせる必要があります。

副会長：指定制度は所有者が重要性を理解していることが前提で、改めて周知することが必要でしょう。また、修理等をした文化財には補助もしているので公開も必要で、例えば大塚家住宅の見学はどうしていますか。

事務局：居住しているため原則非公開ですが、在宅時は柔軟に対応してくれています。公開日を決め、市から案内を依頼する案もあります。

副会長：小田城開園後の利用状況はいかがでしょう。

事務局：開園行事で約2000人、5～7月の平均で約1500人いらして下さっています。これは案内所への来館数であり、広場利用者を含めれば平沢官衙の初年度より多いと思われます。案内標識設置が今年度となり、場所がわかりにくいとの苦情は多いです。

委員：現在はちびっ子博士の来館者が多いです。

事務局：ポケモンもいて、新聞社に混乱がなければ歓迎と答えたところ、他は困惑しているが小田は歓迎と、少数派として掲載されてしまいました。

委員：小田城の中でやる分にはいいでしょう。

委員：知ってもらうためには何でもやらないといけません。

委員：ちびっ子博士には他の展示施設も加えればいいと思います。

事務局：最初は理科系研究施設が主でしたが、北部の施設が少ないこともあり平沢官衙・小田城が追加されました。他にも科学史に関わる谷田部郷土資料館は適しており、特にからくり和時計の復元品はG7科学技術大臣会合での展示でも好評でしたが、動かすことが重要であり対応する人員が配置できません。徐々に増やしていきたいです。

②平成28年度事業計画

委員：戦後70年での戦時の飛行場のパンフレット作成は良かったです。戦争を知る世代はすでに少なく、早めに戦争体験を集めるべきでしょう。

様式第 1 号

会 長：市史資料集としてまとめても良いでしょう。刊行計画はありますか。

事務局：有識者に近世史料を調査してもらい、テーマごとに刊行しています。

ただし、その方も高齢であり今後の方向性は課題となっています。

会 長：近世史料に加えて、戦争体験や研究学園都市建設等も今後は重要になるので調べていくべきでしょう。

事務局：必要は感じていますが手が回らない状況です。今後の課題とさせて頂きたいと思います。

副会長：普及事業には人材が不足しており、市民ボランティアの養成が必要です。整備が一段落したので、ぜひシステム作りに取り組んでほしいです。

委 員：土浦市では退職した教師や研究者のグループが、文化財の調査や報告をしています。課の仕事を軽減する意味でも参考にしてください。

委 員：小田ボランティアは、事務局に市が関わったほうがうまくいくのではないかと思っています。文化財課が難しければ市民活動課でも。

委 員：市民活動課でも団体間の調整はしていますが、養成等はしていません。真壁のように自主的にやる人が2・3人いるとうまくいくでしょう。

事務局：できないことも多いですが、ボランティア制度は努力していきたい。

委 員：小田城の見どころをもっと市民に伝える必要があります。

副会長：筑波山ではクイズを作っています。簡単なものでもないと違います。

委 員：ゲームをきっかけに最弱の武将として知っている子も多いです。

委 員：小田城での道路拡幅の話もあったと思いますが、その後の進展はありましたか。

事務局：南側に駐車場や進入路の要望がありましたが、景観の問題もあり無くなりました。指定地内は現状変更の規制から非常に難しいです。

委 員：今年度の経常的予算の増減について教えてください。管理費の確保は必要です。

事務局：必要最低限の管理費は増額させてもらいました。小規模施設の分散

様式第 1 号

は管理上の難点であり，保護計画作成の際に検討したいと思います。

会 長：保護計画について，施策の大きな方向性を定めることは必要です。

事務局：今年度着手し，来年度まとめる予定です。審議会委員からも数名，
策定委員に加わってもらいたいと考えています。

※閉会（午前 11 時 00 分終了）

会 議 録

会議の名称		文化財保護審議会（第 3 回）		
開催日時		平成 2 8 年 1 2 月 1 3 日 開会 1 0 : 0 0 閉会 1 1 : 4 0		
開催場所		小田城跡案内所, 小田城跡発掘調査現場		
事務局（担当課）		教育局文化財課		
出席者	委員	藤川昌樹, 田中ひとみ, 大関武, 岡野一穂, 毛塚裕之, 徳丸亞木, 中村幸雄, 中山静郎, 橋本喜美子, 松浦恵子		
	その他			
	事務局	山本文化財課長, 大久保同課長補佐, 石橋同係長, 飯塚同主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0 名
非公開の場合はその理由				
議題		①文化財保存活用事業について ②国史跡小田城跡保存整備事業について ③その他		
会議録署名人			確定年月日	平成 年 月 日
会議	1 開会・挨拶 2 議 事 (1) 会議 ①文化財保存活用事業について ②国史跡小田城跡保存整備事業について ③その他 (2) 小田城跡確認調査現地視察 3 閉 会			

<審議内容>

(1) 会議

事務局：配布資料に基づき説明。

①文化財保存活用事業について

副会長：巨樹等調査は取りまとめ中。調査は予備調査を含めると3年目で、今年度調査は81本。昨年度は荃崎・谷田部地区で100本ですが、都市部が多いため数は少なめ。最も大きいのは市指定の栗原の大けやき。多いのはケヤキで33本、そのほかスダジイ11本、イチョウ4本、シラカシ3本等です。

事務局：来年度は北部の大穂・筑波地区の予定ですが、筑波山地があり対象が多いと予想されるため、再来年度の継続も検討しています。

委員：バスツアーについて、以前、県立歴史館で企画したときに旅行業法との関係から旅行業者との共催としたことがあります。今回の場合はどうしましたか。

事務局：意識していませんでしたが交流センターの講座と同様の形態で、参加費は徴収せず昼食も弁当を持参してもらっています。問題がないか再確認します。

副会長：バスツアーの内容も、子供向け解説としておこせば学校等の見学でも使えるのでは。学校の先生にも協力してもらおうと良いでしょう。

事務局：展示施設では子供向けパンフレットもありますが、内容を簡単にするのが難しく、大人が見てちょうどいいとの話も聞きます。パンフレット作成は、来年度が市制30周年でもあるため、何かを考えたいと思います。

会長：史料の購入について、保管場所や公開の方法はどうなってますか。

事務局：市場に流出したものを購入し、出土文化財管理センターや桜資料館に保管しています。リストは作成していますが公開はしていません。

会長：現在はHP等でコストをかけず公開できるので、検討して下さい。

様式第 1 号

②国史跡小田城跡保存整備事業について

委 員：今後の催事の予定はいかがですか。

事務局：文化財課主催の大きな催事は難しく、行政主体よりも地域密着型の事業を考えておりいます。1月には地元のどんど焼きと連携した催事を予定しています。

委 員：地元ボランティア「小田城親衛隊」が活動しており、ちびっ子博士の際の小学生の案内等をしてきましたが、専門的なガイドは難しいこともわかってきました。親衛隊は小田地区で募集しましたが、ガイドは地域を限らないほうがいいかもしれないと思います。

会 長：民具や民家であれば経験で説明できる方もいるでしょうが、小田城の場合は当時を知る人はいないわけであり、違いはあります。

委 員：どんど焼きはどのくらいの来場者がありますか。

事務局：1000人は来ています。市報やHPで広報、電話問合せも多いです。

委 員：小田にはガイドはできないがおもてなしはしたいという方も多いです。どんど焼きや祇園祭等も盛んで山麓秋祭りもあります。ネットで地元を宣伝している若者もいますので、連携して春の催事も考えたいです。

(2) 小田城跡確認調査現地視察

事務局：配布資料に基づき説明。

委 員：障子堀の様子がよくわかる。小田原の北条氏とも関係するのですか。

事務局：最近は北条氏と関係しない城跡でも見つかっていますので、断定できません。

委 員：出土遺物から堀跡の変遷はわかりますか。

事務局：古い遺物があっても、掘り直された土層に混入している場合もあり、古い遺物の出土がそのまま堀跡の時期にはならないため、難しいです。

※閉会（午前11時40分終了）